

伊藤 ゆきひろの ちょっとタイム



便り <No.132号> 2022年 3月1日 発行

ごあいさつ



刈谷市議会議員

【事務所】	
刈谷市一里山町金山100番地 (トヨタ車体労働組合内)	
Tel	0566-36-3870
Fax	0566-36-6272
E-mail	itou@bwcom.or.jp
HPアドレス	http://y110.jimdo.com



露の枯れ果てた茶色の葉の傍に可愛い緑の若葉とコロんとした露の臺…弥生3月。

ワクチン接種と集団免疫の獲得によりコロナとの共生が進む中、消費や投資を柱とする自律的な回復へのシフトが否応なく始まる気配、順調な進展を願います。

トヨタ自動車も2022年春闘で事実上初の初回満額回答の意向を示しました。成長と分配の好循環を社会に生み出す原動力となる事を期待します。

NATO北大西洋条約機構をめぐりロシアの隣国侵攻という事態が世界を震撼させています。絵画やバレエ文学など世界に誇る芸術を昇華させた大国の、自国本位のなりふり構わぬ振る舞いに、20世紀の戦禍の歴史から、未だ学び切れない人類の性を虚しく思います。人命を最優先に、一刻も早い事態収束を祈るのみです。

さて去る17日、刈谷市議会は3月定例会を開会しました。冒頭 市長は施政方針で、2050年までにCO2排出実質ゼロを目指す“ゼロ・カーボンシティ”を宣言。また、市内のトヨタグループ企業等と連携し、情報通信や人工知能等を活用した“スマートシティ”実証実験を行うと表明。刈谷が大きく飛躍しようとしています。

歳時記

3月 3日 (木) 桃の節句	厳しい寒気にコロナ第6波、オリンピック等話題に事欠かない冬がゆき、ようやく待ち侘びた季節が巡って参りました。
5日 (土) 啓蟄	
7日 (月) 消防記念日	
8日 (火) 国際女性デー	夜明けがどんどん早くなるのを実感するこの頃、いつもの小径に春の兆しを見つける 小さなワクワク感を楽しめます。
14日 (月) ホワイトデー	
21日 (月・祝) 春分の日	

2月のフットワーク

2月17日 開会の刈谷市議会3月定例会 初日、本会議場にて市長より新年度施政方針ならびに議案の大綱、および教育長より教育行政方針の所信表明がありました。

【市長 施政方針ならびに当初予算の大綱】(抜粋)

新型コロナウイルスとの闘いは2年を経過、引き続き感染拡大防止と経済活動の両立を目指すとともに、新年度は将来に向けた持続的発展のため、新たにゼロカーボンやスマートシティの推進、自治体デジタル化等を加え、職員一丸となって推進していくと述べられました。

(I)	「守ろう！ 安心安全と健康」	誰もが健康を維持しながら安心して生活できるよう、基幹型の地域包括支援センターを新設、新たな介護人材の確保、日高公園に健康遊具やウォーキングコース整備、障がい者への外出や就労支援の拡充、防災力強化として高潮ハザードマップを新たに作成等。
(II)	「育てよう！ 子どもと未来」	未来を担う子どもたちが心も体も元気に成長できるよう、双葉と東刈谷保育園の大規模改修、多胎児家庭へのサポート充実、放課後児童クラブの一部祝日開設、小中学校体育館へのエアコン設置、地域学校協働活動推進員の配置、全小学校に心の相談員配置等。
(III)	「輝こう！ 暮らしと仕事」	笑顔で暮らし働き続けられるよう、刈谷駅周辺にコワーキングスペース確保、依佐美工業用地第2期開発の事業化、就農支援の拡充、魅力あふれる公園づくり構想策定、地域公共交通計画の策定、地域新電力会社の設立、公共施設のLED照明化等。

【教育長 教育行政方針】(抜粋)

コロナ禍においても目を輝かせて挑戦する子どもたち、そんなひたむきな子どもたちが、これから先も幸せに、笑顔で過ごせる学校づくりを、そして、若者が希望を持ち人々が生涯を通じて充実した人生を送ることができる地域づくりを目指して参りますと述べられました。

「学校教育の充実」	(I)	「知」 確かな学力	「学ぶ力・学ぶ心の育成」として、教科担任制の充実、デジタルの効果的活用、問題解決学習の充実、デジタル教材・大型モニター導入、情報教育アドバイザーとの連携強化、障がい児との交流づくり等。
	(II)	「徳」 豊かな心	「自己肯定感・自己有用感の醸成」として、互いを認め合う機会の充実、「思いやり・感謝・命の大切さ」を学ぶ「小さな道徳」の時間確保等。
	(III)	「体」 健やかな身体	「運動に親しむ」では、体力向上プログラムの推進、「健康の推進」では、心のケア・学びの保障充実等。
	(IV)	「礎」	「知・徳・体」の伸長には「教育環境充実・教員資質向上・学校・家庭・地域連携強化」を推進。
「生きがいをもつ生涯学習都市づくり」	(I)	生涯学習の推進	主体的な学習機会の創出と文化芸術の振興。
	(II)	青少年の健全育成	居場所の環境づくりや相談体制の充実。
	(III)	スポーツの普及と振興	「する・みる・ささえる」の関わり方でスポーツを楽しむ機会の提供充実。

2月のフットワーク

刈谷スマートインターチェンジ (3月下旬) 開通!!



<スマートインターチェンジとは>
 高速道路の既存施設から一般道に出入りできるよう設置された、ETC専用の簡易型インターチェンジのこと。

(1) 連結を必要とする理由(刈谷スマートIC設置により)

1	産業の生産性向上	・周辺に位置する日本を代表する大規模自動車工場から高速道路へのアクセス時間が短縮。物流コスト削減による自動車産業のサプライチェーン強化の支援に寄与。
2	交通渋滞の緩和	・刈谷スマートICの整備により、工場エリアから高速道路までの経路が短縮、転換され、周辺幹線道路の利便性が向上する。
3	周辺地域の活性化 ・観光振興	・高速道路の利便性が向上、周辺地域の活性化に寄与。 ・周辺地域観光資源へのアクセス性向上、観光振興に寄与。
4	防災機能の強化	・高速道路からハイウェイオアシス周辺の避難所等へ直接出入りが可能。救援物資輸送や救急活動の効率化向上。

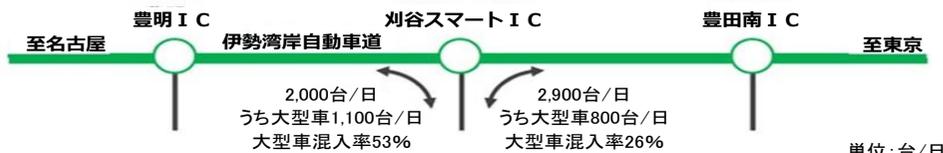
(2) 刈谷スマートICの設置による社会便益 (スマートIC費用と比較し、十分な社会便益を確認)

項目	内容	想定効果	
1	走行時間の短縮等※	走行時間短縮、走行経費削減、交通事故減少	145億円
2	産業生産性の向上	高速道路へのアクセス時間の短縮、物流コストの削減	
3	周辺住民の生活環境向上	生活道路、通学路の道路環境の向上	
4	周辺地域の活性化	高速道路の利便性向上 観光振興	
5	地域防災性の向上	大規模災害時における救護活動を支援	

※金額は開通年から50年間の合計値を現在価値化したもの(税抜き)

(3) 整備前後におけるスマートICとその前後の既設ICにおける出入交通量<2030年度>

刈谷スマートICの設置により、その前後の既設ICを含めた出入交通量が3,400台/日 増加。



	豊明IC	刈谷スマートIC	豊田南IC	合計
整備後	23,900	4,900	13,700	42,500
整備前	24,600	0	14,500	39,100
増減	▲700	4,900	▲800	3,400

伊藤ゆきひろの

ちょっと情報 !!



刈谷 良いトコ ♪



碧空を真っ直ぐに突き上げて、銀色に輝くモニュメント。木立の趣も周りの街並みもまるで異次元の世界に踏み込んだと思わせる美しさ… さて、ここはどこでしょう？



2/1発行の<No.131>の答えは、井ヶ谷町の洲原公園中央にある洲原池を望む歩道でした。

正月飾りに使われる葉ボタンの花言葉は祝福と利益。新しい季節が希望をもたらしますよう…。

"植物と人類 長〜い歴史"への招待☆ (Chapter 1)

早春の光が、一斉に万物を目覚めさせるようです。暖かな部屋の中で閉じこもっていた心が、街中に溢れ出すパステルカラーに急かされ、鉢花を探したりして。

植物と人との関わりは紀元前7千年頃。西アジアの肥沃な三日月地帯で小麦の栽培を始めてから現在に至るまで、長い歴史を刻んでいます。野生の小麦は人の手による選別や交配を経て栽培し易い品種へと変わり、東アジアでは稲や大豆等風土に合う植物を育て、食料の安定確保が定住して暮らすことを可能にしました。

生き延びるために食べる時代から、壮麗な建築や芸術文化を生み出す文明の発達へ、世界の四大文明を誕生させる原動力となりました。一方 冷涼な気候のヨーロッパではそうした植物に恵まれず、家畜から得られるミルクやチーズ・肉等から貴重なエネルギーを摂っていました。しかし植物と違って肉は長期保存がきかないため、抗菌・防腐作用のあるインド原産の胡椒が珍重されましたが遠い異国から多くの商人を介してもたらされる為、一時は金と同等とされる程高価でした。

ヨーロッパの商人達はインドと直接交易できる海上ルートを求め15世紀の大航海時代が始まり、西回りで目指したコロンブスは思いがけず新大陸を発見します。

3月の行事予定

- 3月 1日 (火) 刈谷知立環境組合議会
- 2日 (水) ~7日(月) 3月定例会 本会議
- 9日 (水) ~14日(月) 3月定例会 各常任委員会
- 22日 (火) 3月定例会 予算委員会・23日(水) 本会議
- 29日 (火) 刈谷市議会研修会

"まじめにコツコツ、即行動" 頑張ります!!

